

## ● ハザードマップの表示例

このハザードマップは、土砂災害や浸水する恐れの高い区域を着色しています。  
※ただし、着色されていないところでも災害は起こる恐れがあります



## ● 色が塗られているところは避難＝安全な場所へ移動する必要があります

色が塗られているところは災害リスクがあるため、原則立退き避難が必要ですが、次のとおり上層階や安全な親戚・友人宅への避難ができるかを考えてみましょう。

避難先の例	在宅(上層階)避難	<p>1階以上へ      2階以上へ      3階以上へ</p> <p>(例) A (平屋)は立退き避難が必要 B (2階建て)は上層階(2階)避難が可</p>
	安全な親戚・友人宅 避難所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにも、分散避難へのご理解・ご協力をお願いします

自宅が に塗られている人へ

立退き避難が必要(上層階への避難が不適)となる状況になる場合があります。町から発令される避難情報(警戒レベル)のほか、河川水位や雨・土砂災害に関する情報を参考に、早めの避難行動をお願いします。

※色が塗られていなくても、住宅の条件等を考慮して、必要に応じて立退き避難をしてください。

## ● 同じ色で塗られていても、各家庭の状況により避難のタイミングは異なります

一緒に避難する人の中に、避難に時間のかかる人がいれば、同伴者も警戒レベル3で避難しましょう。

※避難に時間がかかる人の例



# 水害(洪水・内水・土砂災害) ハザードマップを作成しました!

▶ 問合せ 役場防災交通課

近年、狭い範囲に短い時間で強い雨を降らせる「ゲリラ豪雨」や「集中豪雨」によって、人の命が奪われるケースが起きています。「なんとしても人命を守る」ために、地域の水害リスクと水害時の避難に関する情報を提供する「武豊町水害ハザードマップ」を作成しました。以下のポイントとマップ裏表紙の「避難行動判定フロー」をよく読み、各家庭においても大雨への備えを進めてください。

ふだんはコンパクトにたたんで冷蔵庫等に貼り付けておき、災害発生時にはすぐに確認できるようにしましたので、ぜひご活用ください



武豊町 ハザードマップ 検索

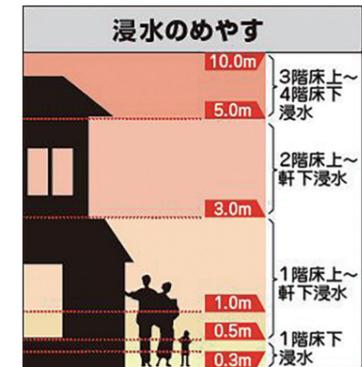
ホームページからもご覧いただけます

## ● 「自らの命は自らが守る」意識を持つことが何よりも大切です

行政は水害ハザードマップの後方支援として、警戒レベルを付して避難を呼びかけるほか、武豊町テレメータサービス等を通じて、現状をお知らせしていますが、あなたとあなたの大切な家族を守るには、各家庭での備えと行動が不可欠です。

## ● 浸水シミュレーションの条件

今回作成した水害ハザードマップは、武豊町において想定し得る最大の降雨量で計算し作成しています(24時間で836mmの雨が降る想定。これは、平成12年の東海豪雨で降った雨の約2.3倍の量の想定です)。



## ● 内水氾濫と洪水(外水)氾濫について



内水氾濫とは

川の水位が上昇して、雨水を川に流せずに、市街地の建物や土地、道路等が浸水することをいいます。町内が大きな水たまりになるようなイメージです。



洪水(外水)氾濫とは

大雨等により川の水が増え続けると、堤防から水があふれたり、堤防が壊れて町中に水が流れ込むことをいいます。